

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	農業近代化資金利子補給事業	会計名称	一般会計		担当課	農林水産課		
		予算科目	6 款 1 項 3 目	事業番号	2451	所属長名	向井裕臣	
事業評価の有無	☐ 評価対象事業 ☒ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）				担当責任者名	池内伸至		
法令根拠等	伊予市農業近代化資金利子補給金交付条例				実施期間	【開始】	平成 17 年度	
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造					【終了】	平成	年度(予定)
	魅力ある農業の振興						■	設定なし
総合計画における本事業の役割	魅力ある農業の振興のための利子補給金							
事業の対象	農業者等			事業の目的	農業経営の近代化と合理化を図り、その振興に資することを目的とする。			
事業の内容（整備内容）	農業者等が農業近代化を図るため融資機関から融資を受けた場合に融資機関に対してその利子を補給する。			評価事業としないこととした理由	契約に基づく請求による利子補給を行う裁量の無い事務のため			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	28 年度実績	29 年度予定	9月末の実績	29 年度実績
直接事業費		145	0	212	0	0	174						
財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	0						
	県支出金		0	0	0	0	0						
	地方債		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0						
	一般財源	145	0	212	0	0	174						
職員の人工（にんく）数		0.05	0.05				0.05						
1人工当たりの人件費単価		8,086	8,017				8,017						
※ 直接事業費＋人件費		549	401				575						
主な実施主体		融資機関		実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）		補助金							
向こう5年間の直接事業費の推移 （千円）						30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	5年間の合計		
						150	140	140	130	130	690		

事務事業評価 (CHECK)

自己判定 (担当責任者)	事業の成果		
一次判定	事業の方向性	☒ 事業継続と判断する。 ☐ 事業縮小と判断する ☐ 事業廃止と判断する	判断の理由 本事業は、金融機関等との契約に基づく請求に基づき利子補給を行う裁量の無い事務事業であり、なお効果的な執行に努めるのみであることから評価事業とはしないが、農業者の資金調達等その効用は認められるため継続と判断する。

二次判定	☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
	☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
	☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申 外部評価	答申の内容
--------------------	----------------------

今後の方向性（ACTION）

経営者会議 の最終判断	事業の方向性		コメント欄
	☐	さらに重点化する。	
	☒	現状のまま継続する。	
	☐	右記の点を見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を行う。	
	☐	事業の休止、廃止を行う。	